

FR | JP | DE



# 取扱説明書 ALP

Japanese

Revision index: 22/05/2025

SUPAIR  
34 rue Adrastea  
Parc Altaïs  
74650 Annecy - Chavanod  
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E

[www.supair.com](http://www.supair.com)

# 目次

1. 始めに.....	3
2. アルプに関して.....	3
3. スパック .....	4
4. サイズチャート.....	5
5. 構成部品.....	6
6. ハーネス外観図.....	7
7. アクサリーのセットアップ.....	8
カラビナ.....	8
外皮 .....	8
フットプレート .....	9
アクセル.....	10
インフレーターブルプロテクション.....	11
8. アクセルをグライダーに接続する.....	13
9. レスキューのセットアップ.....	14
10. 収納ポケットおよびガジェット.....	19
内部フレームのポケット.....	19
外皮のポケット.....	20
11. ハーネスの調節.....	21
ストラップの調節.....	21
スピードバッグの調節.....	23
12. グライダーとハーネスの接続.....	25
13. ハーネスの装着.....	26
14. 交換部品.....	27
15. 飛行中の挙動.....	28
16. フライトの各段階.....	29
プレフライトチェック.....	29
テイクオフ.....	29
アクセルの使用.....	29
ランディング.....	30
17. レスキューパラシュートを使う.....	30
18. トーイング.....	30
19. 定期点検.....	31
20. メンテナンス.....	31
クリーニングおよびお手入れ.....	31
保管および運搬.....	31
耐用年数.....	31
修理.....	32
素材.....	32
交換部品.....	32
リサイクル.....	32
21. 保証.....	32
22. 免責事項.....	33
23. フライト装備.....	33
24. 事故が起きたら.....	33
36. 整備履歴.....	34

# 1. 始めに

パラグライディング活動にアルプハーネスをお選びいただき、ありがとうございます。私たちは、共に分かち合う情熱にご一緒できることを大変嬉しく思っております。

スップエアーは1984年からフリーフライト用装備の設計、製造、販売に携わっています。スップエアー製品をお選びいただくことで、40年にわたる専門知識、革新性、そして細心の注意力を手に入れることとなります。常に改善に努め、高品質な製品を選択することは、我々の哲学でもあります。

本取扱説明書は、あなたの装備の操作、安全対策、点検についてご案内することを目的としています。本書は、包括的で分かりやすく、そして楽しくお読みいただけるよう努めております。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新されたこの製品の情報をスップエアーのHP(www.supair.com.)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店あるいはファルホークインターナショナル(有)にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

たくさんの美しく安全な飛行時間をお祈りしています。

スップエアーチーム

# 2. アルプに関して

スップエアーと共に情熱を共有するパラグライディングの世界へようこそ。

アルプハーネスは、ハイレベルなハイク&フライ用に特化した超軽量・高性能ハーネスです。空力性能、軽量性、効率性を追求した意欲的なデザインは、ハイク&フライ活動で卓越したパフォーマンスを目指す熟練パイロットのために設計されています。

アルプハーネスはEN 1651+A1の認証を受けており、欧州の安全基準を満たしています。

この取扱説明書を熟読した後、最初の飛行の前にシミュレーターにぶら下がりハーネスをテストすることをお勧めします。

アルプは超軽量素材を使用してデザインされたハーネスです。紐フック付きの靴や、突出したアイゼンを装着したまま飛行しないでください。生地が引っかかって破れたり、ストラップやロープが引っかかったりする可能性があります。また、ハーネスの寿命は、製品の取り扱い方法によって大きく左右されます。

安全講習(SIV)において、ALPを使用してレスキューの開傘は行わないよう強く推奨します。安全性には影響ありませんが、レスキューの開傘後にハーネスが損傷する可能性があります。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



警告!

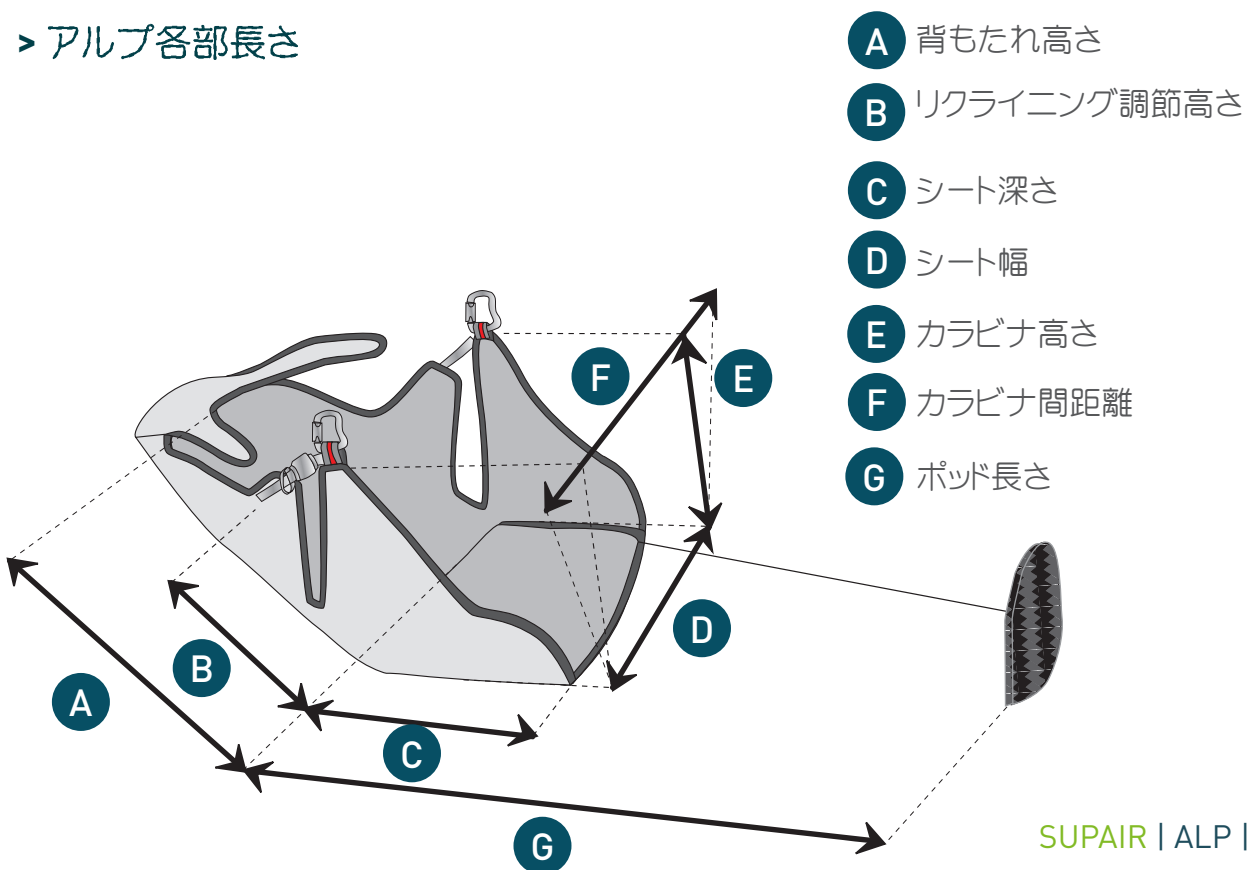


危険!!

### 3. スペック

ハーネスサイズ	S	M	L
パイロット身長 (cm)	155-175	172 -185	182-195
パイロット体重 (最小 - 最大) (kg)	50 - 75 kg	65 - 85 kg	70 - 95 kg
最大吊り下げ重量(グライダーおよびカラビナ除く)	100 DNa ( approx. 100 kg)	100 DNa ( approx. 100 kg)	100 DNa ( approx. 100 kg)
ハーネス重量 (g)	1580	1610	1640
使用目的	パラグライディングのみ		
A - 背もたれ高さ (cm)	57	63	68
B - リクライニング調節高さ(cm)	31	35	38
C - シート深さ (cm)	41	43	45
D - シート幅 (cm)	35	35	35
E - カラビナ高さ (cm)	40	40	40
F - カラビナ間距離 (cm)	38	38	38
G - ポッド長さ (cm)	97	103	113
背部収納容量	12L	13 L	15 L
シート下部収納容量	3 L	3 L	3 L
ドリンクシステムポケット容量	2 L	2 L	2 L
プロテクションタイプ	インフレータープロテクション		
認証	EN 1651+A1:2020		
タンデム使用 (パイロットーパッセンジャー)	否ー否		
トーイング	否		
リリースカラビナ対応	否		
レスキューコンテナー容量	2.0 à 4.8 L		

#### > アルプ各部長さ



## 4. サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながら最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がって異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

もし、シミュレーターで試して、2サイズの両方に適合する場合は小さいサイズにすることを推奨します。

Size Weight (kg)	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95
50	S	S	S	S	S				
55	S	S	S	S	S				
60	S	S	S	S	S				
65	S	S	S	S		M	M	L	L
70	S	S	S	S		M		L	L
75	S	S	S	S		M		L	L
80					M	M		L	L
85					M	M		L	L
90						L	L	L	L
95						L	L	L	L

## 5. 構成部品

1. アルプ外皮 (商品コード: ALPCOVERNUES\*)
2. フットプレートとポッドの間にかませるスペーサー
3. リペアキット (商品コード: KITREPARATIONALPS/KITREPARATIONALPM/KITREPARATIONALPL)
4. レスキューグル (商品コード: POIALP)
5. エーデルリッド製AURAカラビナ (商品コード: MAILMOUSAURA)
6. 内部フレーム
7. アルプ用3段軽量アクセル
8. アルプ用フットプレート (商品コード: MPPL044)
9. フットプレートケーブル
10. Y型レスキューブライダル (商品コード: ELESOLOALP)
11. インフレータブルプロテクション (商品コード: MPPP104)
12. グライダーとアクセルバーを接続する引綱
13. 収納バッグ
14. ドリンクボトル用ポケット



## 6. ハーネス外観図

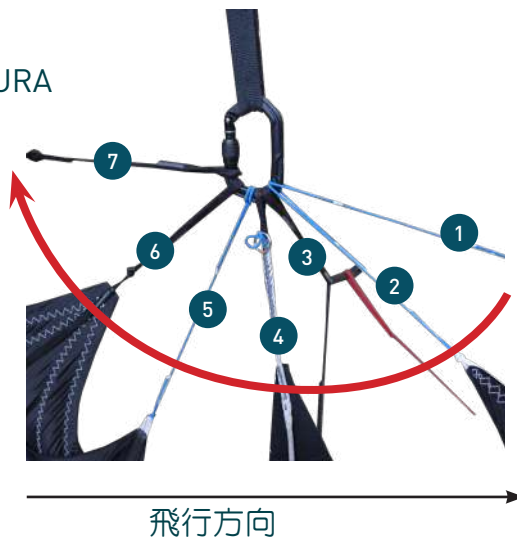
1. カラビナ取り付けポイント
2. 外皮カラビナ取り付けポイント
3. レスキューコンテナ
4. コックピット
5. マグネットファスナー
6. エアークラップ
7. 肩長さ調節ストラップ
8. リクライニング調節ストラップ
9. 腰部調節ストラップ
10. シート深さ調節ストラップ
11. チェスト/レッグストラップ
12. ポッド長さ調節ストラップ
13. 背部収納ポケット
14. インフレーターブルプロテクション



## 7. アクセサリーのセットアップ

### > カラビナ

エーデルリッド製 AURA  
商品コード : MAILMOUSAURA



カラビナの開口部が飛行方向に対して後ろを向くように、すべてのハーネスストラップを、図の番号の順番通りに通します。

- ① フットプレートストラップ
- ② レッグストラップ
- ③ チェストストラップ
- ④ シートストラップ
- ⑤ 腰部ストラップ
- ⑥ リクライニングストラップ
- ⑦ 肩長さストラップ

### > 外皮

アルプ外皮  
商品コード : ALPCOVERNUES / ALPCOVERNUEM / ALPCOVERNUEL

カラビナの接続が内部フレームに正しく取り付けられたら、次は内部フレームを外皮に接続します。左右それぞれに対して次の手順に従ってください。

- ① 外皮で、カラビナを通すための所定のスリットを見つけます。ハーネスの両側で、以下の手順を繰り返します:



②

カラビナを開き、白いマイラーフィルムにある2つのスリットからカラビナを外皮に通します。カラビナの開口部は、飛行方向に対して後ろ向きになるようにしてください。



③

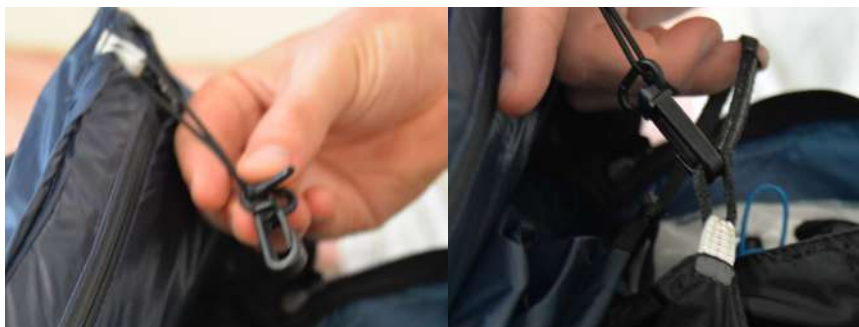
図に示すように、カラビナをスライドさせて、内部フレームに接続された全てのストラップが外皮の内側に収まり、カラビナの残りの部分が外皮の外側に残るようにします。

両側でこの操作を繰り返します。



4

図に示すように、レッグストラップが中央にくるように、2つのベルクロストラップを使用して、外皮をハーネスのチェストストラップに接続します。



5

コックピットをABS上の所定の位置に固定するプラスチックフックを接続します。

### > フットプレート

アルプ用フットプレート  
商品コード：MPPL044

下図のように、布地の形状に沿ってフットプレートを所定の位置に挿入します。



フットプレートの最終的な取り付けは下図のようになります。



## &gt; アクセル

## アルプ用3段アクセル



両側に対して以下の手順で行ってください:

1

にアブフレームの腰部レベルにあるプーリーにアクセルロープを通します。

2

アクセルロープをメインカラビナ近くにある摩擦防止リングに通します。



3

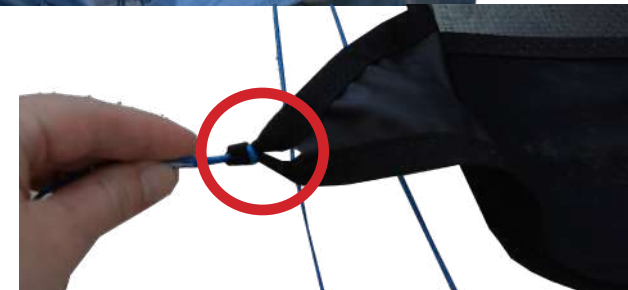
アクセルロープをメインカラビナの下に位置する外皮のハトメに通します。

4

フットプレート上で、フットプレートのストラップと生地との接続部の近くにある穴を見つけます。

5

アクセル接続コードを穴に通して結び、固定します。



6

最終的にフットプレートとアクセルの接続された状態は右図のようになります。



## ▶ インフレーターブルプロテクション

アルプ用インフレーターブルプロテクション

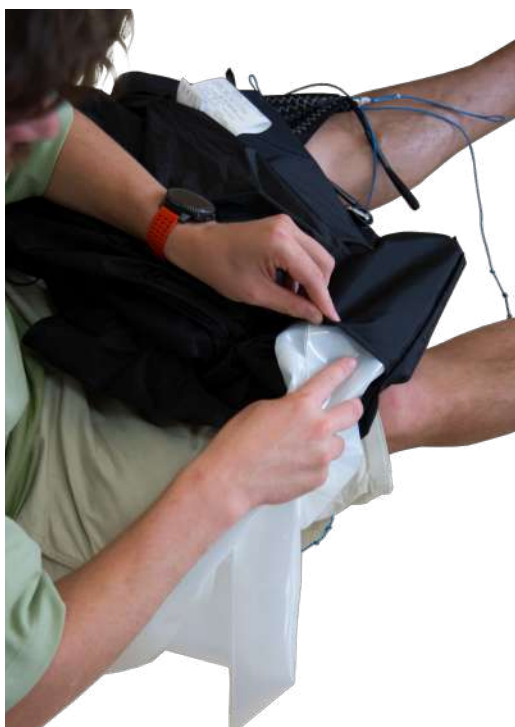
商品コード：MPPP104

アルプはハーネスに付属するインフレーターブルプロテクションを装備して使用されなければなりません。



1

ポケットに挿入しやすくなるように、プロテクションを3つに折り曲げます。



2

プロテクションポケットの開口部を見つけて、プロテクションを内部に差し込みます。

プロテクションを正しく配置するには、プロテクションの角をポケットの角に揃えてください(枕カバーに枕を入れるのと同じように)。



3

ホースは後方を向き、かつ上部に向くように取り出します。



4

ハーネスの背面に沿って左側にある最初のループにホースを通します。



4

最後に、内部フレームの左肩にある2番目のループにホースを通します。

## 8. アクセルをグライダーに接続する



適切に使用するには、アクセルを戻したときに張力がかからないようにする必要があります。

左右両側のライザーに対して次の手順を繰り返します:

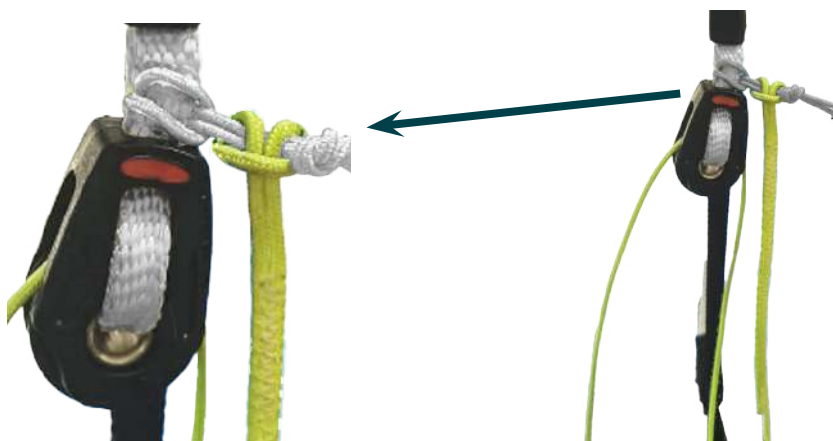
- 1 グライダーのライザーにあるアクセルプーリーで、2つのプーリーを接続しているリーシュを取り外します。



- 2 アルプに付属の接続リーシュを、下図にあるようにプーリーの上にあるダイニーマストラップにヒバリ結びで接続します。



- 3 接続リーシュを取り付けられたら、アクセルコードの末端をヒバリ結びで接続リーシュと結節します。しっかりと固定されるように、十分に締め付けてください。



## 9. レスキューのセットアップ

以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、有資格者によって行われるように忠告します。



**警告！**

レスキューパラシュートのパッキングとハーネスへの収納は、本取扱説明書に定められた要件を厳守してください。それ以外の取り付けについては、当社は一切の責任を負いません。

レスキューパラシュートの容積は、パッキング方法によって異なります。アルプのレスキューコンテナはスツプエアシリーズのレスキューパラシュートとの互換性を確認しています。他のパラシュートも互換性がある可能性がありますが、事前にシステムが正常に機能することを確認してください。

### > レスキューコンテナの特徴

アルプ			
レスキューモデル	S	M	L
シャイン	✓	✓	✗
フルードライトエヴォ	✓	✓	✗

- 容積：2,0 L ~ 4,8 L
  - ロックシステム：ケーブル
  - 軽量レスキューパラシュートに適合
- ✓：互換性あり  
✗：互換性なし

### > トグルをレスキューに接続する

ヒバリ結びを使用して、下図に示すように、レスキュートグルをレスキューインナーのサイドループに接続します：



### > ハーネスにブライダルを接続する

アルプに同梱されているY型レスキューブライダルは、両端の2つの小さなループと、ライザーの中央を示す大きなループで構成されています。作業を進める前に、これらの要素を明確に識別してください。

- ① ブライダルの端にある2つの小さなループを確認し、左右両側に対して、コックピットの側面にあるカラビナの下専用スロットにループを通します。

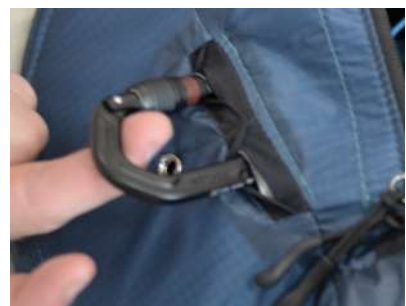


②

左右両側に対して、ブライダルのループをハーネスのメインカラビナに接続します。



レスキュー開傘時にスムーズにスライドするように、ブライダルはカラビナのゲートのない部分に配置する必要があります。



③

「アクセサリのセットアップ」セクションの指示に従って、カラビナを外皮に接続します。



④

最終的なセットアップは左図のようになります。

## > ブライダルとレスキューの接続



1

レスキューをハーネスのブライダルに接続するには、Y型ブライダルの大きいループにレスキュー側のブライダルを通します。



2

次に、レスキュー側のブライダルのループにY型ブライダルを通して、ラークヘッドノットを作成します。



3

セットアップを強固するために十分に締め上げます。

## > レスキューをコンテナに収納する



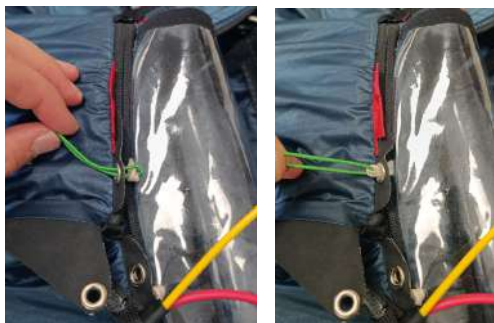
1

レスキューをレスキューコンテナに挿入します。ブライダルは後方(コンテナ奥側)に、トグルは上向きになるように配置してください。



2

レスキューコンテナの左右両サイドのファスナーを閉じます。



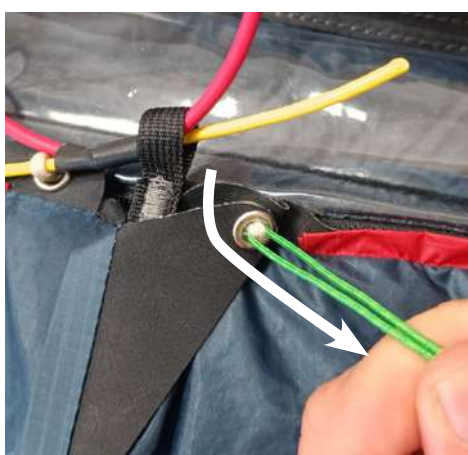
3

レスキューコンテナを閉じるために利用するガイドロッドを使って、最初の白いループを、ファスナーの反対側にあるハトメに通します。



4

トグルの黄色いロッドを白いループに突き刺して固定し、ロッドの端を赤いスリーブに押し込みます。



5

図のように、2つ目の白いループを残りの2つのハトメに通します。



6

ロッドを白いループに突き刺して固定します。



ファスナーのスライダーが完全に奥までかみ合っているか、また、ここまでの操作中にファスナーが開いていないかを確認します。



7

黄色いロッドを赤いスリーブに差し込んで取り付けを完了します。最終的に収納が完了したレスキューは図のようになります。

## > 必須の引き出しテスト



危険！！

レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり、必ず引き出しテストを実施してください！

疑問がある場合は、専門家にセットアップを確認してもらってください。

折り畳まれたパラシュートの容積は変化する可能性があるため、レスキューコンテナが適切に機能することを引き出しテスト時に確認してください。引き出しテストは6ヶ月ごとに実施する必要があります。



注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

## > レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートのトグルの位置を定期的を確認することを強くお勧めします。目を閉じても確認できなければなりません。そうすることで、レスキューパラシュートの開傘が必要となる飛行事故が発生した場合に、生存の可能性を最大限に高めることができます。そのような場合、対地高度を正確に評価してください。高度が十分に高い場合は、グライダーを通常飛行状態に戻す操作を行う方が有利な場合があります。しかしながら、高度が十分に高くない場合は、レスキューパラシュートを開傘しなければなりません。



レスキューの開傘は、真の緊急時にのみ行ってください。

トグルを力強く垂直方向に引きます(レスキューが引き出されます)。レスキュー全体(インナーコンテナとトグル)を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー(CまたはD)あるいはブレイクを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます。膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

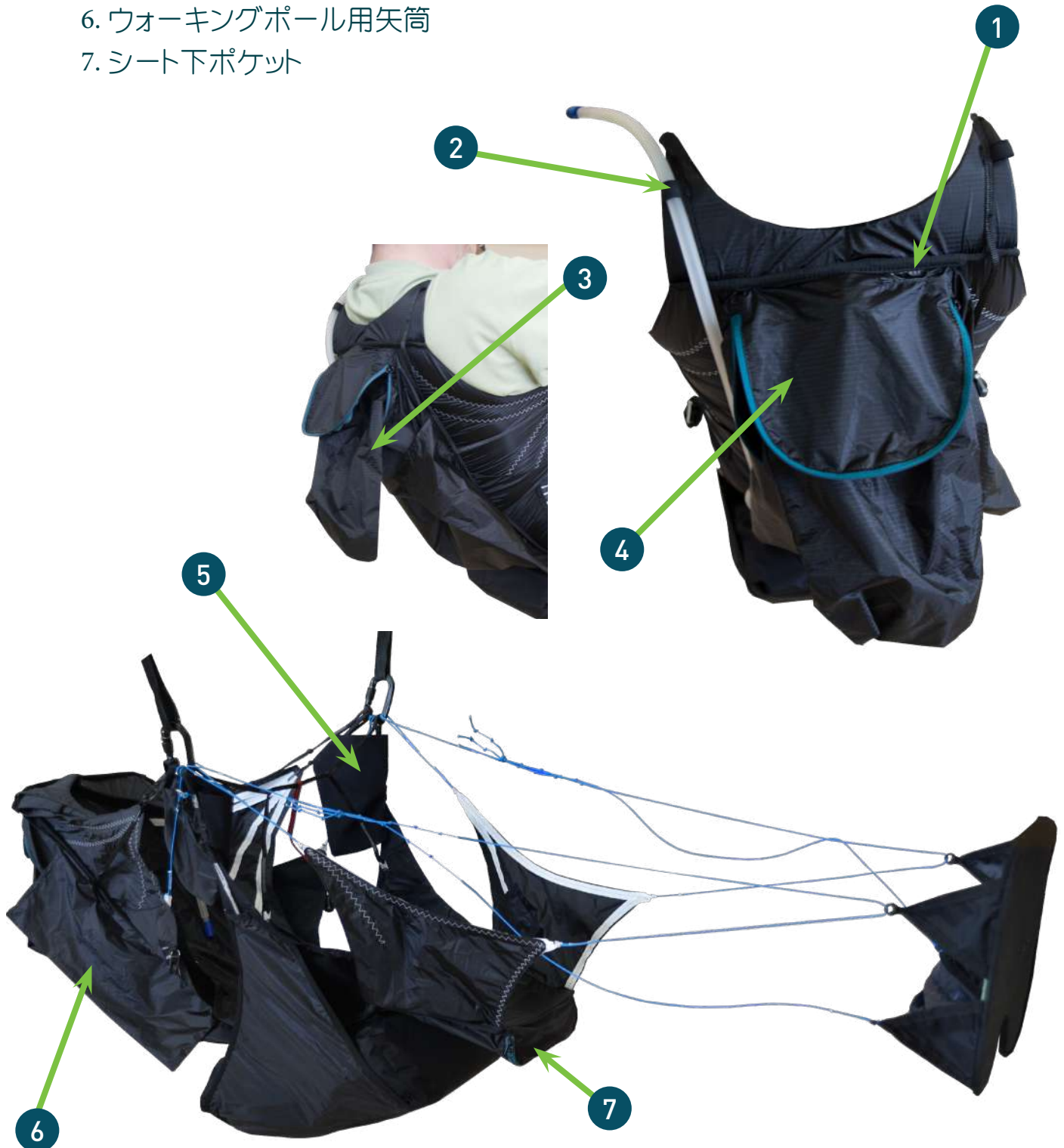


立ち姿勢をとりやすくするために、片方の腕と頭をY字型のライザーに通すことをお勧めします。

## 10. 収納ポケットおよびガジェット

### > 内部フレームのポケット:

1. ドリンクチューブスリーブ
2. インフレーターブルプロテクションチューブスリーブ
3. ドリンクシステムポケット
4. 背部収納ポケット
5. ボトル用ポケット
6. ウォーキングポール用矢筒
7. シート下ポケット



> 外皮のポケット:

1. 小物入れ
2. バッテリーポケット
3. コックピット



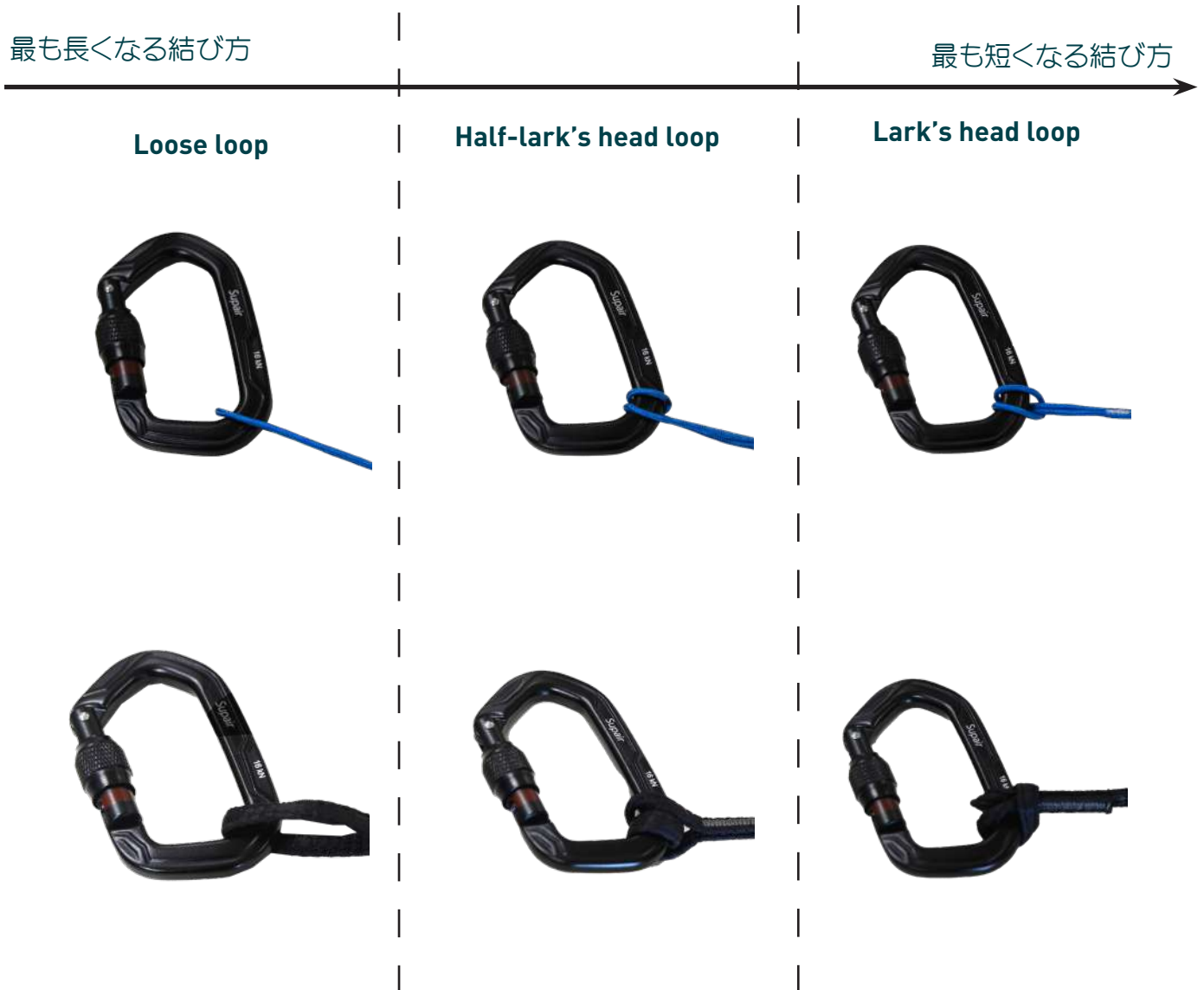
# 11. ハーネスの調節



最高レベルの快適性と安全性を確保するために、使用する前にシミュレーターにつり下げてハーネスを調節することをお勧めします。

- ▶ ストラップの調節 (肩ストラップの長さ、リクライニングの角度、腰部サポート、シートの傾きの調節)

肩ストラップの長さ、リクライニングの角度、腰部サポート、シートの傾きの調節は、カラビナでのさまざまなタイプの結び方を使用して行います:



使用する前にシミュレーターにつり下がってハーネスを調節し、外皮を膨らませてテストすることをお勧めします:

ハーネスを装着し、シミュレーターにつり下がり、次の順序で設定を調節します:

- ① ② リクライニング角度および腰部サポートストラップを使用しリクライニング姿勢を調節します。
- ③ 肩ストラップを使用して肩ストラップの長さを調節します。
- ④ 身長と飛行姿勢に合わせてスピードバッグの長さを調整します。



ハーネスが適切に調節されると、飛行姿勢はこのようになるはずですが。

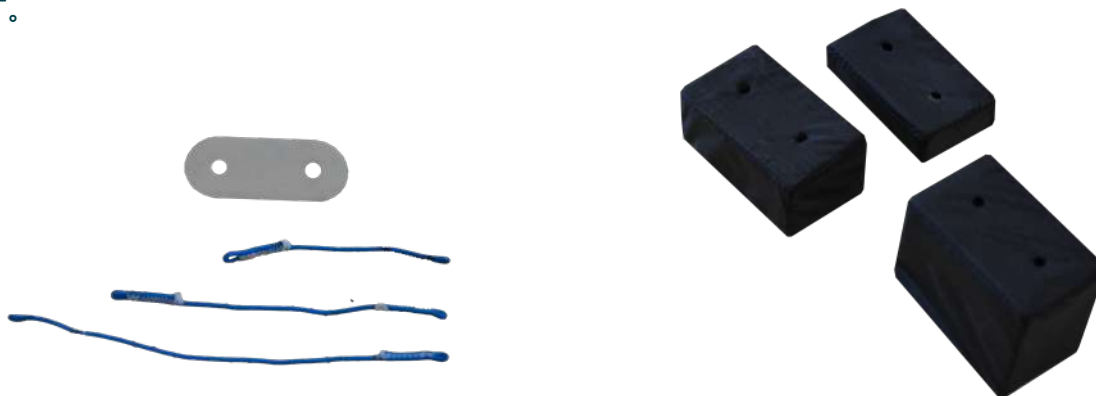


## > スピードバッグの調節

スピードバッグの長さは、スピードバッグの先端とフットプレートの間の距離を変えるフォームブロックを使用して調節されます。

1

体型に合ったスピードバッグの長さを実現するために、適切なサイズのフォームブロックを選んでください。取り付けには、穴のあいたマイラープレートと、フォームブロックのサイズに合ったストラップが必要です。



2

適切なフォームブロックを選んだら、フォームブロックのサイズに合った適切な長さのストラップを用意します。フットプレートを裏返して、フォームブロックの設置場所にアクセスします。



3

アセンブリを固定するために使用するピンにアクセスするには、フットプレートをカバーから取り外します。



4

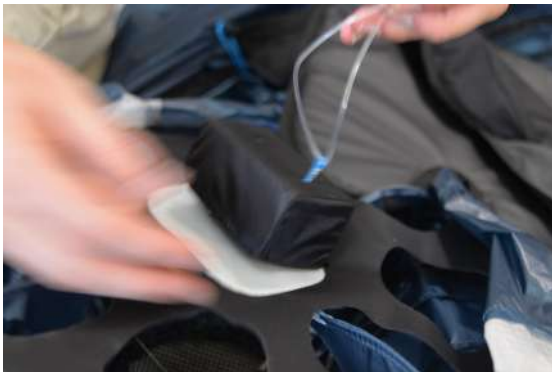
ストラップを穴あきマイラープレートの2つの穴に通します。



5

外皮エアークインテーク裏の壁にも穴が開いているので、この壁の裏側にマイラープレートを差し込み、壁にある2つの穴にストラップを通します。

6 レスキューコンテナを閉める際に使用するガイドロッド(又はロープ)を使用して、ストラップをフォームブロックの2つの穴に通し、フットプレートカバーの生地に通します。



7 ピンを使用してストラップの位置を固定し、ピンをベルクロで固定します。



8 最後に、フットプレートをカバーに戻して取り付け完了です。最終的な組み立ては図のようになります。



## 12. グライダーとハーネスの接続

ねじれがないように、オートマチックカラビナを使ってライザーをハーネスのアタッチメントポイントに接続します。ライザーの向きが正しいことを確認してください:Aライザーが飛行方向の前側になるようにしてください(図を参照)。最後に、カラビナがしっかりと閉められていることを確認してください。



## 13. ハーネスの装着

1

外皮のポッドを開き、そのまま、カラビナ部分でハーネスをつかみます。



2

チェスト/レッグストラップ(赤いストラップ)の片側からハーネスに片方を通します。



3

チェスト/レッグストラップが両脚の間をきちんと通っていることを確認しながら、もう一方の足を通します。



4

腕をハーネスの肩ベルトに通してから外皮のベストに通します。



5

外皮のベストの両方のファスナーを閉めます。



6

最後に、首の部分のコードを締めて、外皮の密閉を確実にします。



## 14. 交換部品

- ① 外皮  
商品コード: ALPCOVERNUE \*
- ② フットプレート (フリーサイズ)  
商品コード: MPPL044
- ③ インフレーターブルプロテクション  
商品コード: MPPP104
- ④ レスキュートグル  
商品コード: POI\_ALP



## 15. 飛行中の挙動

アルプは、軽量設計と空力特性を融合させた革新的なハーネスです。ハイレベルなハイク&フライ向けに設計され、性能と快適性を融合させた、他に類を見ない飛行体験を提供します。

アルプは可能な限り簡単にセットアップできるよう設計されていますが、飛行前の作業では、正しくセッティングされているか確認することが大変重要です。飛行中の安全と快適さを保証するためには、すべてのステップが重要です。慎重にセットアップすることで、アルプを存分にお楽しみいただけます。

アルプは、スップエアーハーネスの伝統を継承しており、そのカテゴリーにおいて安定した安心感のある挙動を維持しています。

シートプレートは無く、ハイク&フライに最適なセミリクライニングポジションを実現しています。アルプの操作性は、他のハイク&フライコクーンハーネスと同等です。ただし、外皮形状を維持し、最適な空力的特性を確保するには、飛行中は脚を伸ばした状態を保つ必要があります。

マグネット式ファスナーのおかげで、着陸進入時のハーネスの操作性は従来のコクーンハーネスと同等です。スムーズで正確な感触で、穏やかに自信に満ちた着陸を可能にします。



## 16. フライトの各段階

### > プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック。
- レスキューパラシュートのトグルのケーブルがレスキューコンテナのフラップを閉めるループに通されていることを注意深くチェック。
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック。
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック。
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック。
- レスキュートグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック。
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック。

### > テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着します。



チェスト/レッグストラップは両脚の真ん中に来るように装着してください。もし自信がない場合は、最初からやり直してください。



- 離陸したらすぐに座らずに立った姿勢を保ち、斜面から十分離れてからスピードバッグに足を入れハーネスに収まるようにしてください。
- 斜面近くではブレークトグルを離さないように。
- スピードバッグに足を入れハーネスに収まる際に間違っアクセルを踏み込まないように注意してください。リーディングエッジが潰れる危険性があります。

### > アクセルの使用

グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。アクセル使用に関するさらなる情報を得るためにグライダーの取扱説明書を参照してください。



アクセルの使用は、乱気流に対して、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することができます。



ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。さらなる加速には3段目バーを踏むこみます。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

## > ランディング



ランディングアプローチに際しては、十分余裕を持ってスピードバッグから両足を出しておきます。その後、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。スピードバッグから足を出す方法は、従来のハーネスと同様にマグネット式のファスナーを両足で押し広げて行います。

ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常に立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。

ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときを目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近づきます。着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

## 17. レスキューパラシュートを使う



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しなくてもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキュートグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで、緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。



レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。

力強くレスキュートグルを外側に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

## 18. トーイング

アルプにはトーイング用の専用アタッチメントポイントが装備されていません。このタイプの製品ではトーイングで離陸することはお勧めしません。

## 19. 定期点検

### > 6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査 (トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか)。
- ハーネス全体の状態の検査。

### > 1年ごとの点検:



- 専門家あるいは認定センターによるレスキューパラシュートのリパック (パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合)。

## 20. メンテナンス

### > クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのストラップ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。

ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境 (ダート、砂など) で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します: 中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

### > 保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

### > 耐用年数



- 以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください:
- ストラップ類 (摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
  - バックルおよびカラビナの状態 (摩耗、クラック、正しく機能しているか)



アルプのストラップと生地に使用されている繊維は、可能な限り軽量になるように厳選され、織り上げられています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的に検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです。



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外（登山やトーイングなど）には絶対に使用しないでください。カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。

レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的にリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも1年に1回はリパックをしてください。

## > 修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スプエアーは、通常の保証期間を超えていたとしても、機能の一部または全部に破損が生じた製品を修理する努力をいたします。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

## > 素材

生地：

- Nylon 210 R/S 44 ROBIC
- MJ38
- MJ32
- ドミニコ 10D

ストラップ：

- ダイニーマ 4mm
- ダイニーマテープ 7mm

## > 交換部品

- 外皮
- フットプレート【フリーサイズ】
- インフレーターブルプロテクション
- レスキュートグル POI\_ALP

## > リサイクル

もしあなたのアルプが、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品の回収およびリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地域の機関にお問い合わせください。

# 21. 保証

スプエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スプエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し2年間（購入後）保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

## 22. 免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。慎重に行ってください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。スプエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスプエアー製品は、ソロ用ハイク&フライおよびクロスカントリーパラグライダー専用設計されています。アルプハーネスは、SIVマヌーバやアクロバット用として設計されていません。スカイダイビングやベースジャンプなど、その他のアクティビティには、この製品の使用は固く禁じられています。アルプは非常に軽量の製品です。ハーネスを損傷する恐れがあるため、アクロバットなどのダイナミックな動作は行わないでください。

## 23. フライト装備



ヘルメット、適切な靴、そして適切な服装を着用することが必須です。靴紐を引っかけるフックや突出した金属部品が付いた靴の使用は避けてください。スピードバッグが破れたり、サスペンションラインやストラップに引っかかったりする可能性があります。

また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

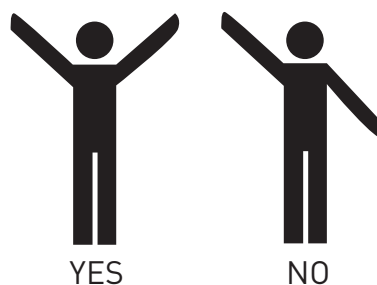
## 24. 事故が起きたら

緊急電話番号



EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助が必要?



YES

NO

SOS信号:



## 25. 整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付:	
購入者氏名:	
販売店名・印:	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



SUPAIR  
LIFE IS IN THE AIR

SUPAIR  
34 rue Adrastee  
Parc Altaïs  
74650 Annecy - Chavanod  
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E

輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司  
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12  
<https://www.falhawk.co.jp> Email: [info@falhawk.co.jp](mailto:info@falhawk.co.jp)